

第1回 横浜市下水道事業経営研究会（第9期）	
日 時	令和3年12月13日（月）15：00～16：15
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室みなと1～3
出席者	滝沢座長、伊集副座長、加藤委員、白石委員、椿委員、原委員、松行委員、丸山委員
欠席者	鴨志田委員
開催形態	公開
議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 座長・副座長の選出 (2) 下水道管路の包括的民間委託検討部会報告 (3) 下水道施設の包括的管理委託検討部会報告 (4) 下水道事業経営研究会（第9期）の内容 (5) 下水道管路の包括的民間委託検討部会の委員の選出 (6) 下水道施設の包括的管理委託検討部会の委員の選出 (7) 下水道事業における広報 (8) その他
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境創造局長挨拶 (2) 下水道事業経営研究会（第9期）委員、専門委員紹介 <p>2 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 座長・副座長の選出 <p>○事務局 参考資料2「横浜市下水道事業経営研究会運営要綱」について説明。</p> <p>○事務局 運営要綱の第4条に基づき、座長を選出していただきたいと思います。第9期の研究会では、第8期で頂いたご提言を踏まえて策定を進めている下水道事業中期経営計画の素案や、今後の施策の進め方などについてご意見を頂くことを主な議題と考えています。座長は委員の互選となっておりますが、事務局としては、今期の議題は第8期との関連性が高いことから、第8期で座長を務めていただいた滝沢委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>○事務局 ご賛同頂きましたので、委員の皆様の互選により滝沢委員に座長をお引き受け願いたいと存じます。</p>

続いて、運営要綱第4条に基づき、滝沢座長より副座長のご指名をお願いします。

○滝沢座長 第9期経営研究会の座長に選出いただきました滝沢でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

副座長につきましても、第9期と第8期の関連性を踏まえて、伊集委員に継続してお願ひしたいと思ひますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

○滝沢座長 ご賛同ありがとうございます。それでは、伊集委員に副座長をお願ひしたいと思ひます。

—滝沢座長挨拶—

—伊集副座長挨拶—

(2) 下水道管路の包括的民間委託検討部会報告

○滝沢座長 議事(2)に入ります。こちらは私が部会長を務めていた「下水道管路の包括的民間委託検討部会」からの報告です。部会では、第8期研究会の最後の開催以降に、包括的民間委託契約内容の報告を行いました。詳細については、検討部会の事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料2「下水道管路の包括的民間委託検討部会の活動報告」について説明。

○滝沢座長 ただいまの説明について、何かご質問・ご意見等はございますか。

横浜市の中大口径管の包括委託の取組は全国でも珍しく、先駆けてこういった民間との連携をするということで、国のほうでも非常に注目されている取組です。説明の通り、前回の第7回検討部会では契約が済んだ後に、契約に至るまでの取組等々について、もう一度反省点あるいは改善点がないかどうか、今後のために振り返りを行いました。

何かご質問等はございますか。よろしいですか。

(3) 下水道施設の包括的管理委託検討部会報告

○滝沢座長 議事(3)の報告について、部会の委員でもある加藤委員から報告をお願いします。

○加藤委員 同部会では、第8期研究会の最後の開催以降に南部汚泥資源化センターと金沢水再生センター前処理施設、この2つの包括的管理委託の公募に向け、受託候補者の選定を行いました。結果については、検討部会の事務局から説明します。

○事務局 資料3「下水道施設の包括的管理委託検討部会の活動報告」について説明。

○滝沢座長 この報告について、何かご質問やご意見はございますか。

○加藤委員 若干、簡単な補足説明です。検討部会の雰囲気といいますか、今説明があったとおり、応札者が1者ずつという結果に終わりました。この点数が高いのか低いのかについては何とも言えませんが、今後もう少しインセンティブといった、もっと参加が増えるような方策がないかなどについては、今後の課題となっています。

○椿委員 応札者が1者ずつしかなかったということは、確かにこれからの課題かと思った。あと、この中で2つの入札価格にかなり差があり、どうしてこんなに違うのかが分からなかった。管理委託の内容が違うからこんなに差があるのか。

○滝沢座長 南部汚泥資源化センターと金沢水再生センターで金額が大きく違うことについて、事務局から簡単に説明してください。

○事務局 まず、1者入札については我々も非常に大きな課題と認識しています。全国的にも類似の委託について1者契約になってしまうことが非常に多い状況です。今後、次回以降の契約に当たっては、多くの事業者さんに参加していただけるように引き続き検討を進めたいと考えています。

それから、2つ目の質問ですが、金額が違うことについては、それぞれの委託業務内容が異なっています。汚泥資源化センターについては、横浜市の南部方面の水再生センターで発生する汚泥を集約処理する非常に大規模な施設の維持管理であり、非常に金額が高い状況になっています。一方、前処理施設については、金沢の工業地帯の一部の廃水を処理する施設であり、小規模な施設の包括的管理ということで、金額的には低くなっている状況です。

○滝沢座長 下水道施設は極端に言うと、一つ一ついろいろな特徴や運転管理上のノウハウといったものがある。そこの運転管理に慣れている受託業者に対し、あまり運転経験のない業者が入ってきていきなり運転管理をすると、どうしてもトラブルが起きる不安もあり、定型的な業務に比べてこういう形で応札してもらうようにしている。単純な意味でと言っていいか分からないが、競争原理が働きにくいのは、下水道技術というものの特殊性があるのではないか。汚泥処理といってもAとBというところでは全く違うプロセスであったりすると、Aは得意だけれどもBはやったことがない、

といったことがある。恐らくそういった下水道技術のある種の特徴も踏まえて、複数の応札者が出にくいという課題もあるのだろうと思う。引き続き部会のほうで今後に向けて検討してほしい。

○**原委員** 金額が大変大きいので想像しにくい部分もあるが、こちらの入札価格が決まったことで、この金額そのものは今までの実績と比べてどのような状況なのかを伺いたい。

○**事務局** 金額についてですが、これまでの金額よりはやや上昇傾向にありますが、前回が6年前に契約したものですので、もろもろの社会情勢や、あるいは一部の業務内容等々を鑑みて、我々の想定している金額の範囲内ということで今回契約をさせていただきました。

○**原委員** 特別、何かプラスになったものなどはあるのか。

○**事務局** 軽微な業務内容の変更は一部ありますが、大きな変更はないと理解していただければと思います。

○**椿委員** 今回の入札を行うに当たって、例えばSDGsに関して新たに応札条件に変更を加えたとか、そういうことはあるか。

○**事務局** 今回の公募に当たっては、公募資料の中に具体的にSDGs等の取組についても評価すること、そういった提案を広く求めたいという趣旨の内容を加えています。

○**白石委員** 2点、基本的なところを伺いたい。2つの施設で金額が全然違うのは規模が違うからというような説明であったが、その規模には単位みたいなものはあるのか。例えば公園であれば、ヘクタールという大きさと規模の違いが理解しやすい。下水道でもそういうものがあるのか。

2つ目は、応札者が1者ということで、技術に特殊なところがあるから難しいとの説明があったが、事業者が替わるときの引継ぎはどのようになっているのか。具体的にはトラブルが起きるかもしれないという不安要素があるということだが、A者からB者に替わったときの技術の受渡しがスムーズにいくような方法論があるのか。以上、2点について伺いたい。

○**事務局** まず1点目の施設の規模についてです。規模感でいいますと、例えば汚泥資源化センターで処理する汚泥の量が1つの目安になるかもしれません。1日約80万m³の水を処理する過程で出る汚泥を処理する施設が南部汚泥資源化センターになりま

す。一方、金沢水再生センターの前処理施設については、1日100m³程度の規模になります。施設の内容や処理する目的も全く違うものですので、それに伴って業務内容も異なるということもあります。

2点目の引継ぎについてですが、これまでの契約でも事業者が替わった場合の引継ぎ事項については、仕様書の中で必要な引継ぎ事項については契約上定めています。もし事業者が替わった場合でも必要な事項は引継ぎができるようにしています。

○白石委員 それでもやはりA者からB者に替わるときは何かトラブルがあるのではないかとという点で、いろいろ懸念があるということか。

○事務局 補足ですが、我々もそういった維持管理情報を、次の公募をしやすいように、詳細な維持管理の情報や、管理する施設の状況などを、公募資料の中になるべく多くの資料をつけるようにして、今後事業者が替わった場合でもスムーズな事業継承ができるように努めています。

(4) 下水道事業経営研究会（第9期）の内容

○事務局 資料4「下水道事業経営研究会（第9期）の内容」について説明。

○滝沢座長 ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見はございますか。よろしいでしょうか。それでは、続きまして次の議題に進みます。

(5) 下水道管路の包括的民間委託検討部会の委員の選出

○事務局 資料5「下水道管路の包括的民間委託検討部会について」について説明。

○滝沢座長 ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等はございますか。

○滝沢座長 運営要綱第6条では、「検討部会は、座長が指名する委員若干人及び専門委員をもって組織する」とされています。そこで、下水道管路の包括的民間委託検討部会は、事務局の提案に基づいて、当研究会の委員からは私と鴨志田委員の2名、専門委員として資料5の委員構成にお名前のある3名をもって、都合5名で構成したいと思いますが、よろしいでしょうか。

—異議なし—

○滝沢座長 ありがとうございます。それでは、引き続き下水道管路の包括的民間委託検討部会を運営していただき、検討部会での検討状況については、今後の研究会で報

告してください。

(6) 下水道施設の包括的管理委託検討部会の委員の選出

○事務局 資料6「下水道施設の包括的管理委託検討部会について」について説明。

○滝沢座長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問等がございますか。

本年度の南部に続き、来年度は北部汚泥資源化センターです。この包括的管理委託についてご審議いただくということです。ご質問はよろしいですか。

○滝沢座長 運営要綱第6条では、「検討部会は、座長が指名する委員若干人及び専門委員をもって組織する」とあります。そこで、下水道施設の包括的管理委託検討部会については、事務局の提案に基づいて、本研究会からは伊集委員、加藤委員の両名にお願いし、また、専門委員名簿にお名前のある3名を追加して5名で構成したいと思いますが、よろしいでしょうか。

—異議なし—

○滝沢座長 ご承認ありがとうございます。それでは、引き続き下水道施設の包括的管理委託検討部会を運営していただき、検討部会での検討状況については今後の研究会で報告してください。

(7) 下水道事業における広報

○事務局 資料7「下水道事業における広報」について説明。説明の最後に「下水道のPR動画」を放映。

○滝沢座長 お気づきの点やご質問があればお願いします。

出演しているのはみんな職員の方か。俳優さんではないのか。

○原委員 すばらしい動画だと思う。この動画はどこで視聴できるのか。

○事務局 この動画については、先ほどの説明のとおり、ホームページへの掲載およびYouTubeで配信しています。随時、この3分の動画および30秒バージョンも併せて掲載して、PRを行っています。

○加藤委員 質問というよりは、今後、経営計画をつくる意味での広報というか、市民科学もそうだが、しっかりと経営計画の柱に位置づけてほしい。やはり下水道は使用

料と税金でやっている事業なので、安定性という意味では市民の理解が一番大事なところである。あと、しっかりやられていると思うが、しっかりとした仕事として経営計画に位置づけてほしい。どうしてもこの手のものは二の次になることが結構あり、熱心な人がいなくなると急に沈んでしまうことになりがちである。東京都には広報課があるが、横浜の場合はないと思う。先ほど広報の説明を下水道事業マネジメント課の方が行っていたが、そういう専門のセクションがない。ただ、仕事としては柱なんだということをしっかり位置づけてほしいと思っている。

○原委員 いろいろな媒体でPRをされていると思う。特にこれからはウェブ、SNS、ユーチューブといったオンライン系のものが増えると思うが、今までのアクセス数であるとか、そういった統計はあるのか。今後、拡大・普及していくと思うが、そういったことに活かせるようなデータは何か取れているのか。

○事務局 まず、ユーチューブに関して、実際にこちらの動画は市の採用申込みの4月、5月に合わせてアップしましたが、30秒動画については現時点で約9万回を超える視聴となっています。そのほかツイッターも活用しており、下水道の日等の情報を発信し、フォロワーは6500人となっています。

また、eアンケートという形で、アンケート調査をこれまで2010年、2015年と5年置きに実施しています。eアンケートメンバー約3500人のうち、1000人程度の方々からアンケートを聴取し、経年変化として下水道に対する意識の変化などを追っています。

ちなみに、2010年と2015年の市民の方の意識調査の変化について、紹介します。アンケート結果では、食器洗いの前に油をちゃんと取っていますかという質問項目に対し、40%弱だったのが65%にアップしています。あとは雨水ますの定期清掃の実施についても、20%から65%に上がっています。我々がお知らせしていることが市民の方々に浸透しつつあると考えています。また、下水道の役割に関する認識では、浸水から街を守るという重要な役割については、30%から50%、また、ちょうど東日本大震災が2011年にあったので恐らくその影響かと思いますが、地震時に市民の生活を守る役割についても15%から50%まで上がっています。このように下水道に対する経年変化をしっかり捉えていきたいと思っており、今まさに2021年12月末にかけてeアンケートを行っている状況です。

○滝沢座長 ほかにご意見はございますか。よろしいですか。それでは、特にご意見はないようですので、この議題は終了したいと思います。

(8) その他

—特になし—

	<p>○滝沢座長 それでは、以上をもちまして、本日予定した議題は全て終了いたしました。進行を事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>3 閉会</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1 …… 横浜市下水道事業経営研究会（第9期）委員、専門委員名簿</p> <p>資料2 …… 下水道管路の包括的民間委託検討部会の活動報告</p> <p>資料3 …… 下水道施設の包括的管理委託検討部会の活動報告</p> <p>資料4 …… 下水道事業経営研究会（第9期）の内容</p> <p>資料5 …… 下水道管路の包括的民間委託検討部会について</p> <p>資料6 …… 下水道施設の包括的管理委託検討部会について</p> <p>資料7 …… 下水道事業における広報</p> <p>参考資料1 …… 横浜市附属機関設置条例</p> <p>参考資料2 …… 横浜市下水道事業経営研究会運営要綱</p> <p>参考資料3 …… 下水道管路の包括的民間委託検討部会設置運営要綱</p> <p>参考資料4 …… 下水道施設の包括的管理委託検討部会設置運営要綱</p> <p>参考資料5 …… 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（一部抜粋）</p>